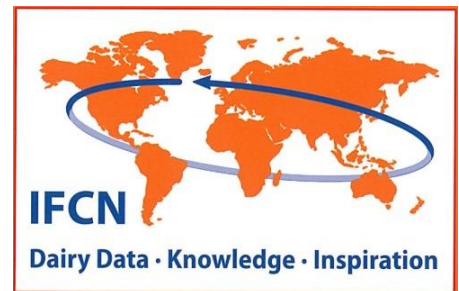


2024年5月8日  
一般社団法人Jミルク

## 世界の酪農乳業研究者ら、十勝に集う 「東西酪農の出会い」テーマ 7月2日に公開会合

世界の酪農乳業関係の団体・企業や研究者などをつくる「国際酪農比較ネットワーク (International Farm Comparison Network = IFCN)」は6月29日(土)～7月2日(火)の4日間、北海道帯広市などで、年次研究会合「IFCN デーリーカンファレンス 2024 (IFCN Dairy Conference 2024)」を開催します。テーマは「東西酪農の出会い～アジアの酪農：地域に根差し国際視野で考える～」。4日間の会期のうち7月2日は一般公開日程(オープンデー)として開催し、日本やアジアの酪農乳業の現状や将来展望などに関して講演やパネル討論などが行われ、国内外の研究者や専門家が国際的な視点から議論を深めます。



IFCN はドイツ・キールに本部があります。世界的な乳業メーカーや農業機器・設備メーカー、飼料・飼料添加物メーカー、金融機関など約140の企業・団体が会員となり、100カ国以上の大学教授など研究者(リサーチャー)が委嘱を受けて活動に参加しています。主に各国の酪農経営に関するデータの比較分析を行い、独自の経済モデルや指標も使いながら、報告書などさまざまな形で成果を発信しています。国連食糧農業機関(FAO)や国際酪農連盟(IDF)などと連携した活動も行っています。日本からJミルクが会員として参加しています。「IFCN デーリーカンファレンス」は25回目、アジアでの開催は初めてです。(IFCN ホームページ：<https://ifcndairy.org/>)

オープンデーの会場となる帯広市は、日本屈指の酪農地帯である十勝地域の中心的な都市です。十勝地域としての生乳生産量は日本全体の約17%を占めます。日本の代表的な酪農地帯であること、酪農場、乳業会社、大学などの関連施設が充実していることなどから、帯広市をはじめ十勝地域が開催地となりました。

なお、IFCN デーリーカンファレンス 2024 の一般公開日程である7月2日以外の3日間については、いずれもIFCN 会員など限定のプログラムとなっており、一般の参加や取材はできません。6月29日は研究者による会議、6月30日には乳業工場、酪農場、大学の視察、7月1日は研究報告などが予定されています。

## 【IFCN デーリーカンファレンス 2024 概要】

## 1. 主催・共催

主催＝国際酪農比較ネットワーク(IFCN)

共催＝一般社団法人Jミルク

## 2. オープンデー日時

2024年7月2日(火)

午前9時～午後5時

## 3. オープンデー会場

北海道ホテル

(北海道帯広市西7条南19丁目1番地)

## 4. 会合テーマ

「東西酪農の出会い～アジアの酪農:地域に根差し国際視野で考える～」

(West meets East / Asian Dairies: Standing locally, thinking globally)

## 5. オープンデーの主な参加対象者

- ・ 日本の酪農乳業関係者・研究者
- ・ 行政・自治体関係者
- ・ 報道関係者

## 6. オープンデー申し込み

会場のスペースなどの関係から、一般参加をご希望の方は事前申し込みが必要です。下記の国際グループ担当者までお問い合わせください。なお、申し込みは、①ご芳名、②ご所属(社名/団体名/牧場名など)、③部署名・役職名、④電話番号、⑤メール、を本文中に明記の上、件名を「IFCN 会合参加申し込み」などとして、下記の国際グループ担当者までお送りください。(参加は無料です)

取材に際しても、事前に申し込みをお願いいたします。①ご芳名、②媒体名、③ご所属、④部署名・役職名、⑤電話番号、⑥メール、を明記の上、件名を「IFCN 会合取材申し込み」などとして、下記の広報担当者までお送りください。

※一般参加、取材ともに、申し込み締め切りは6月24日(月)午後5時とさせていただきます。なお、定員に達した場合は、その時点で締め切らせていただく場合がありますのでご了承ください。

## 7. オープンデー当日プログラム(現時点での予定であり、詳細は今後決定します)

※同時通訳サービスを提供予定です。

午前:日本の酪農乳業に関する講演と討論

発表予定者

山本 光将 氏(M-Queen's 代表取締役)

鈴木 信行 氏(よつ葉乳業株式会社 取締役酪農部長)

清水池 義治 氏(北海道大学大学院 農学研究院 准教授)  
中田 俊之 氏(トモエ乳業株式会社 代表取締役社長)  
モデレーター=内橋政敏 一般社団法人Jミルク専務理事  
午後:アジアの酪農乳業に関する報告と討論  
アジア各国研究者やスポンサー企業・団体による報告

### 一般社団法人Jミルク

酪農・乳業・牛乳販売の各関係団体や企業、個人などが会員となつてつくる業界団体。主な事業内容として、▽生乳や牛乳・乳製品の需給安定のための調査分析や情報発信、▽健康・栄養面をはじめ、酪農乳業界が持つ多様な価値の理解促進につながる情報や科学的エビデンスの収集・提供、▽国際機関との連携、などを行っています。

▶ 公式 WEB サイト:<https://www.j-milk.jp/>

以 上

※本リリースは農政クラブ、農林記者会、北海道政記者クラブ、帯広市政記者クラブに提供しています。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

一般社団法人Jミルク

東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 お茶の水ユニオンビル 5 階

国際グループ 栗原 [j-kurihara@j-milk.jp](mailto:j-kurihara@j-milk.jp)

電話:03-5577-7495

**【取材に関するお問い合わせ先】**

広報担当 寺田 [h-terada@j-milk.jp](mailto:h-terada@j-milk.jp)

電話:03-5577-7494